

海洋環境の調査保護活動

- 1 自治体名 江原道 (Gang Won-do) 東海市 (Donghae-si)
- 2 発表者名 墨湖 (Muk-ho) 中学校 金スンジュン (seungjun)
- 3 活動名 海洋環境の調査保護活動
- 4 活動期間 2007年 3月～2007年 7月
- 5 活動場所 望祥 (Mangsang) 海水浴場と於達(eodal)港口及び ゾンチョン(jeoncheon)

6 活動参加人数 650名 (全校生と指導教師)

7 活動を始めた経緯

墨湖中学校においては、最近海洋汚染が深刻になっていることから、海洋環境保全の重要性の理解と環境保全実践の必要性に対する意識を高めるために海洋ごみの調査活動を実施した。

8 発表要旨

活動内容紹介

ア. 海洋環境保全の深刻性及び海洋浄化活動の実施

学校では環境体験活動の大部分が河川や海で行われていて、海洋環境の重要性と実践意識を高めるきっかけを作るために、海洋汚染の深刻性を認識して海洋保全活動を実施した。

イ. 海洋浄化活動実施以後の海洋ごみの発生源の調査

海洋環境の浄化活動の実施以後、海辺の漂着物調査をした結果、隣接している海でも似たような結果が出た。この結果は7種類に分類することとしており、ごみをプラスチック類、金属類、紙類、布類、ガラス類、発泡スチレン類、ゴム類など7種類で分けて調査した。

ウ. 海洋環境保全の実践方策

- 1) 海洋汚染の深刻性を認識し、自ら海洋保護活動が出来るように環境意識を持って継続して実践する。
- 2) 海洋ごみを減らすために海水浴場を訪れる観光客を対象に“ごみを出さない”環境キャンペーンを実施する。
- 3) 海洋ごみを無くすために定期的に海洋環境浄化活動を実施する。